

伊勢湾・三河湾の干潟・浅場の埋め立てと水産資源への影響

1, 干潟、浅場の埋め立てで、クルマエビの生産量が減少する

瀬戸内 11 府県の漁獲量の推移をみると、昭和 33 年は 1,301 トンだったが、埋め立てが本格化する 30 年代後半から急落。40 年代初めに稚エビの放流が始まったものの、45 年には 497 トンと底をつく。瀬戸内法が施行された翌年、埋め立て件数が激減すると、漁獲量は 1,000 トン台に戻った。

この間のクルマエビの受難を漁獲量が如実に物語っていた。「干潟 1 平方キロ (100ha) の消失が年間 6 トンの減産を招く」と試算したこんな報告例もある。

クルマエビを取り巻く状況は今も変わっていない。

現在、香川だけでも年間 1,000 万匹以上の稚エビを放流している。一方、県内漁獲量はここ数年、増加傾向にあるものの、年間 50～100 トン程度、125 万～250 万匹でしかない。

2, クルマエビは干潟がなければ繁殖しない

海中でふ化したクルマエビの幼生は、全長 0.5 ミリぐらいのプランクトンサイズ。泳ぐ力は弱く、潮流に乗って浮遊しながら、適当な干潟を見つけ、以後、底生生活に入る。

大体、体長が 10 センチ程度になるまで干潟の中で暮らしているようだ。

3, 浅瀬の埋め立て 東京湾環境科学研究所ニュース No.18 より

かつて東京湾には干潟や海浜等の浅瀬が豊かに広がっていました。1936 年当時には干潟が 136Km²、水深 0-10m の浅瀬が 381Km² と湾水域面積の 40% 以上を占めていました(*1)。とくに、東京都内湾域 (以下、「都内湾域」という) は江戸川、荒川、中川、隅田川、多摩川の 5 大河川の流入により、多量の土砂が供給され広大な干潟等の浅瀬が形成され、海苔や貝等の沿岸漁業が盛んに営まれていました。しかし、大都市圏域の拡大に伴い、浅瀬は廃棄物処分場や産業用地として埋立てられ、1990 年には東京湾の干潟は 10Km²、浅瀬 (水深 0-10m) は 188Km² まで減少しています(*1)。都内湾域では江戸時代から埋立が行われていましたが、明治以降急速に進み(*2)、明治から平成 10 年 3 月までには 55.6km²(*3) が埋立てられ、浅瀬はほとんど消失しました。

干潟には、内湾のえびの王様クルマエビですね。1 キログラム 8 千円とか 1 万円するという高級な海老ですけれども、埋立が進む前は東京湾全体で年間百トン位獲れたクルマエビが。今は多分 5 トン以下ではないか、二十分の一以下に減っています。

4, 伊勢湾・三河湾の干潟

三河湾は、1970 年代に 1,200ha (12k m²) の埋め立てが行われた。

伊勢湾は、干潟の 3 分の 2 以上が埋め立てられた。

伊勢湾、三河湾でも、開発の進んでいる愛知県側では 1,489ha 存在していた干潟のうち 1,006ha が消滅しており、その消滅率は 64% に達している。

1975 年までの伊勢・三河湾の干潟の埋め立て

三河湾の干潟 260ha の 50% が埋め立てにより消滅。

伊勢湾の干潟 3000ha の 60% が埋め立てにより消滅。

項目	単位	東京湾	伊勢湾	三河湾	大阪湾	有明海	備考
1] 水面積	km ²	1,000	1,738	604	1,529	1,700	
2] 干潟面積	km ²	16.4	13.95	15.49	0.15	207.13	
3] 干潟面積割合	%	1.6	0.8	2.6	0.0	12.2	3]=2]/1]
4] 浅場(水深5m)面積	km ²	186	73	117	13	340	
5] 浅場面積割合	%	18.6	4.2	19.4	0.9	20.0	5]=4]/1]

干潟、浅場面積の状況

注) 浅場は干潟域を含む水深5m以浅の海域

三大湾の現況

	伊勢湾・三河湾	東京湾	大阪湾	備考
海岸線延長 (km)	660	776	630	
水域面積 (km ²)	2,342	1,160	1,400	() は水面積 に対する割合
-10m以浅面積 (km ²)	620(26%)	360(31%)	140(10%)	
埋め立て面積 (km ²) (昭和20年8月～平 成13年3月)	79(13%)	157(26%)	85(14%)	() は全国比
平均水深 (m)	16.8	38.6	27.5	伊勢湾は伊良湖 から鳥羽市を結 ぶ北側の海域
容積 (億m ³)	394	621	440	
流域面積 (km ²)	17,675	7,540	5,737	
流域人口 (千人)	10,317	35,530	19,340	

資料：三重県「伊勢湾再生ビジョン策定調査報告書」(平成13年)